



## 試験事業の売却と株主への還元について

2008年8月28日

ボディコート plc (以下「ボディコート」)は、当社試験戦略的事業単位 (以下「試験事業」)を、Clayton, Dubilier and Rice 社 (以下「CD&R」)へ売却することで、条件付合意に達しました。(以下「売却」)CD&R 社は、CD&R ファンド VII LP によってこの買収を成立させるために設立された CDR Tabasco 有限会社を介して売買いたします。売却額は、無債務ベースで現金約 4 億 1700 万ポンド、及びカナダ、ミシサーガの遊休地 65 エーカーに対するベンダー手形貸付 (以下「VLN」)をあわせた額です。この売却に伴い、役員会は、約 2 億 6000 万ポンド (1 株あたり 80 ペンス相当)を株主の皆様へ還元することを提案しております。

### ハイライト:

売却額には、以下に記載する調整を条件として支払われる現金約 4 億 1700 万ポンド、及びカナダ合衆国ミシサーガの遊休地 65 エーカーに対する VLN が含まれます。

4 億 1700 万ポンドという売却額は、試験事業の品質の高さ、及びボディコートが様々な専門分野と地域を越えた試験事業の設立のために実行した戦略の成功を示しています。

この売却が成立するのは、ボディコートの株主の承認、及び特定の規制当局の認可を得られた場合に限りませんが、2008 年 10 月末までに完了する見込みです。

役員会は、株主の皆様への売却益の還元額を決めるにあたり、熱処理受託加工戦略的事業部 (以下「熱処理受託加工事業」)の開発戦略を継続して実行するために、柔軟性を保つ必要があることを考慮に入れながら、自社の資本構成を評価しました。

売却後、ボディコートは付加価値を高め、特殊工程を増やすことにより事業に注力し、新興市場での更なる拡大を目指し、特に北アメリカでの不採算施設を整理することによって、熱処理受託加工事業の業績を加速度的に改善する見込みです。

役員会は、現在のグループの財務実績は、進歩的な配当政策を継続できるものと確信しております。目標配当は、2.0 倍～2.5 倍の範囲です。

売却の完了に引き続き、ボディコートは 1 株あたり 80 ペンス (計約 2 億 6000 万ポンド)を株主の皆様へ還元する意向です。役員会は、この利益還元を、B 株制度を利用して行うことを提案する意向です。B 株制度についての詳細と、関連する株式併合についての個別の案内は、売却完了後、できるだけ速やかに株主の皆様へ郵送いたします。

また、加えて、ジョン・ハーバードは、後継者が見つかれば、最高経営責任者の座を退く意思を明らかにしました。現在進行中の戦略を実行するに足る人物の選定調査は順調に進んでおり、新しい最高経営責任者は、近々発表される見込みです。

ボディコート会長のアラン・トムソンは、以下のように述べています。

「ボディコートが設立した試験事業は、大成功を収めました。今こそ、株主の皆様へ、その価値を実感していただく時です。また、ボディコートが熱処理受託加工事業に集中し、その豊かな可能性をお届けすることができる時がまいりました。」

### 1. 売却の背景

2008 年 4 月 30 日に行われた年次総会及び中間経営報告書でお知らせしたとおり、役員会は、グループの 2 つの戦略的事業単位である熱処理受託加工事業と試験事業について、2008 年初めから綿密な戦略調査に着手しました。この調査の結果、試験事業の全体処分と、熱処理受託加工事業の更なる発展のための機会を拡大することに焦点を置くことによって、株主価値を十分に実感していただけるという結論に達しました。この結論に達した主な理由は、以下のとおりです。

ボディコートが実行した戦略には、市場をリードする2つの戦略的事業単位を創出しました。それぞれに、強力な管理チームとすばらしいビジョンがありました。

試験事業は、熟練した管理と、多様な地域や対象分野の広がりによって、市場をリードする事業へと発展いたしました。熱処理受託加工事業は、加熱処理、熱間静水圧プレス、特殊な表面処理といった専門的スキルを基盤として、向かうところ敵なしの状態を享受しています。また、航空宇宙業、石油・ガス、発電、自動車業、精密機器産業および医療応用技術産業向けの新素材の製造、及び開発間での、付加価値面での欠くことのできない連携を可能にしています。

試験事業が、そのサービス提供、及び健康科学、環境、計測技術といった事業活動分野の拡大を続けるうちに、試験事業は熱処理受託加工事業とは別に運営されるようになりました。同時に、2つの事業間の相乗効果を得られる機会が減っていきました。

役員会は、KPMG コーポレートファイナンスをこの売却の財務顧問及び共同主催者に任命しました。また、クレディ・スイス証券(ヨーロッパ)及びリーマン・ブラザーズ・インターナショナル(ヨーロッパ)を共同仲買人及び取引のスポンサーに任命しました。

CD&Rと合意に達した価格は、試験事業の、構造基盤、高成長産業における市場での優位性、高技術の要員、経験豊かで強力な管理チームと、未来に向けた基本的成長の見通しといった魅力が認められたものであると役員会は確信しております。

## 2. 試験事業について

試験事業は、世界トップ水準の研究所ベースの試験事業の一つであり、世界25カ国以上、130を超える研究所で実施されています。世界中の顧客に対して、技術要求、付加価値、及び主に産業資材、エンジニアリング部品、薬剤、環境条件の限定的な試験を提供しています。

試験事業サービスは、製品開発や最終生産物で展開され、破壊検査・非破壊検査から応用的かつカスタマイズされた試験や設計コンサルティングまでに及んでいます。

航空宇宙業、産業用ガスタービン、石油・ガス、医薬品といった高い成長と高い技術を要求される市場で、トップの位置を保持しています。大別して以下の2区分で市場取引を行っています。

1つは、資材検査、エンジニアリング&テクノロジー、及び計測技術分野です。これは、製品開発、部品の組立、製造、及び一般的な工学応用で用いられる金属、合金、プラスチック、及び合成物の試験です。主な最終顧客は、航空宇宙業、産業用ガスタービン、石油・ガス、土木工学、輸送業及び一般工学分野です。

もう1つは、健康科学及び環境分野です。これは、医薬品、食品、環境分野向けの試験サービスです。サービス内容は化学組成分析や土壌試料採取から、食品表示及び規制関連のコンサルティングにまで及びます。

2007年12月31日までの1年間で、試験事業は1億7610万ポンドの収益をあげ、概算営業利益\*は2100万ポンド、営業利益は1570万ポンドとなりました。

2008年6月30日までの6ヶ月間では、試験事業は1億20万ポンドの収益をあげ、概算営業利益\*は1150万ポンド、営業利益は1110万ポンドとなりました。2008年6月30日時点での試験事業の総資産は約2億6000万ポンドとなりました。

\* 概算営業利益とは、非経常項目、減価償却、減損費、金利及び税金を差し引く前の利益をさします。

## 3. 売却に関する主な条項

売買契約書の条項の下で、ボディコートは試験事業をCDR Tabasco 有限会社へ売却することに合意しました。同有限会社は、Clayton Dubilier & Rice ファンド VII LPにより、この買収のために設立された会社です。売却額は約4億1700万ポンドで、そのうち約3億ポンドは売却完了時を期限として現金で支払われ、約1億1700万ポンドは、現金で、グループ内で清算されます。またこの売却は、以下に記載する調整が行われることを条件としています。加えて、CD&Rはボディコートに対し、カナダ、ミシサーガの遊休地65エーカーを売却処分して得られる額のうち、取引コストと各種税を控除したあとの純利益を受け取る権利が与え

られる VLN を発行します。

売却完了時の支払期限は、以下の項目により調整されます。

契約締結から売買完了までの間のグループ内取引残高の変化及びグループ内負債残高の金利変更  
実売買完了時の利益調整

売買契約締結から売買完了までの期間における、試験事業の共用サービスの提供に伴うコスト ミシサーガの土地は、2008 年 6 月 30 日時点で、純簿価で 30 万ポンドですが、区割り変更及び計画許可後、価値が上がる可能性もあります。VNL は無担保・無利息で、上記売買の土地または純利益でのみ償還できます。

この売却が成立するのは、ボディコート株主の皆様の承認と、特定の規制当局の認可を得られた場合に限りですが、2008 年 10 月末までに完了する見込みです。関連するご案内は、売却に対する株主の皆様の賛否を問うために召集する臨時株主総会に先がけて、できるだけ速やかに配布いたします。

もし株主の皆様によってこの売却が否決された場合、ボディコートは買収者に現金売却額の 1.0%を違約金として支払うことに合意しました。

#### 4. 利益の用途と売却に伴う財務への影響

この売却の現金手取り額は、税、専門料、及びこの売却に関連する他のコストの差し引き後、およそ 3 億 8000 万ポンドになる見込みです。この純利益は、以下のことに使われます。

上記記載のように、約 2 億 6000 万ポンドを株主の皆様へ還元します。

グループの年金基金へ約 1800 万ポンド拠出します。

残高は、当初はグループの負債を減らすために使用します。その後、この資金は、以下の説明のとおり、熱処理受託加工事業の発展のために使われます。

もしこの売却が 2007 年 1 月 1 日に行われていた場合は、2007 年 12 月 31 日までの事業年度のグループ売上高は減少したことでしょう。2008 年 12 月 31 日までの事業年度でも、この売却によってグループ売上高は減少する見込みです。しかし、売却ののち、現金での収入が予定されているため、役員会ではこの取引が株主価値を十分に高めるものと確信しています。

#### 5. 株主への利益還元と財務への影響

この売却、及びボディコートの継続キャッシュフロー分析を踏まえて、役員会は株主の皆様への利益還元が効果的であることを確信しております。役員会は、この売却が完了次第すぐに、1 株あたり 80 ペンス(計約 2 億 6000 万ポンド)を株主へ還元することを提案します。この利益還元は、臨時株主総会での株主の皆様の賛成が得られた場合に実行されます。

ボディコートは、売却完了後、できるだけ速やかに、利益還元の方法と時期の詳細について個別のご案内を株主の皆様へお知らせする予定です。株主の皆様への還元は、現時点では、株式併合とあわせて B 株制度によって行われる予定です。株式併合は、株価、一株あたり利益、及び配当の同等性を維持するために行います。UK の税率が適用される株主の皆様については、利益の受け取りに際し、元本払込方式、配当金方式、またこの二つを組み合わせた方式のいずれかを自由に選択することが可能です。

#### 6. 熱処理受託加工事業の発展

売却後、ボディコートは付加価値を高め、特殊工程を増やすことにより事業に注力し、新興市場での更なる拡大を目指し、特に北アメリカでの不採算施設を整理することによって、熱処理受託加工事業の業績を加速度的に改善する見込みです。

熱処理加工と関連事業の受託市場は大規模であり、顧客のコスト及び炭素放出削減の機会によって左右され、製品寿命が延び、工業的性質の改良を達成できる専門的な方法の提案により、各社がシェアを分け合い成長しています。ボディコートは、この分野において、世界的市場のトップ水準に位置していることは明らかです。また、この立場を有効活用し、優れた成長力と財務実績を実現する意向です。

現在の熱処理受託加工事業の業績はヨーロッパでは好調ですが、北アメリカではあまりふるいません。一方で、新興市場の事業が順調な成長をみせ、その利益は未開発地域において処理料が増加するにつれて、著しく改善すると予想されています。北アメリカでは、比較的価値が低い多数の拠点を、存続する拠点に統合する予定です。(または、閉鎖される場合もあります)当社はこれにより、北アメリカの利益をヨーロッパと同じレベルに引き上げる予定です。ヨーロッパでは、業績が下位の事業場を数カ所統合し、強化する予定です。

基本的売上拡大及び利益改善は、熱間静水圧プレス(HIP 処理)、Kolstersing®、窒化、真空ろう付け、減圧浸炭、電子ビーム溶接、及び溶射といった付加価値の高い工程を増やすことにより、さらに改良される見込みです。

役員会は、加熱処理受託加工事業全体の売上成長が受託活動の増加や、付加価値の高いサービスに焦点をあて、新興市場でのグループの存在感を高めることによって決定する工業生産高の引き上げを見込んでいます。

各種のサービスと受託提携関係との組み合わせは、幅広い地域と市場部門の広がりとともに、熱処理受託加工事業の需要サイクルへの債務をさらに減らすことが期待されています。前記の効果により、特に西ヨーロッパでの当社の柔軟性を維持するために採用されている契約労働の労働コストを継続的な抑制に影響を与えることも期待されています。

選択的買収はグループと財務実績の発展を強化するために行われます。全ての地域で、しかし特に先進国市場において、概してより高い利益のある付加価値の高い工程の強化を目指します。ボディコート社の加熱処理受託加工事業は、東ヨーロッパとラテンアメリカでは、既に市場のリーダーとなっていることは明らかです。当社は、アジアの主要市場で同等の立場を目指しています。

グループはまた、利益改善、規律に基づく資本投資、労働資本効率の向上によって現金創出を改善することに重点を置きます。

アナリストと投資家向けの電話会議を、本日午前 8 時 30 分まで開設しています。この電話会議は、最高経営責任者のジョン・ハーバードと財務担当取締役のデイヴィッド・ランドレスが主催しています。詳細は、+44 (0)1452 542 363、電話会議番号 62380665 までお問い合わせください。この電話会議の様子は、本日遅い時間に、www.bodycote.com にて、ウェブキャストでご覧になれます。

#### 連絡先:

Bodycote plc

電話 - 01625 505 300

最高経営責任者 ジョン・ハーバード

グループ財務担当取締役 デイヴィッド・ランドレス

#### 財務部門直通

電話 - 020 7269 7278

ジョン・シモンズ

KPMG コーポレートファイナンスは、KPMG LLP の一部門です。KPMG LLP は、Financial Services Authority から認可され規制されており、KPMG コーポレートファイナンスは、ボディコート plc の代理人であり、このお知らせに記述される事項について、他のいかなる第三者も関係しません。また、ボディコート plc 以外の他のいかなる第三者に対しても、KPMG コーポレートファイナンスの顧客に与えられる保護に対して、あるいはこれらの事項に関する助言に対しての責任を負いません。

クレディ・スイス証券(ヨーロッパ)有限公司(「クレディ・スイス」)は、Financial Services Authority から認可され規制されており、クレディ・スイスはボディコート plc の代理人であり、このお知らせに記述される事項について、他のいかなる第三者も関係しません。また、ボディコート plc 以外の他のいかなる第三者に対しても、クレディ・スイスの顧客に与えられる保護に対して、あるいはこれらの事項に関する助言に対しての責任を負いません。

リーマン・ブラザーズ・インターナショナル(ヨーロッパ)は、Financial Services Authority から認可され規制されており、リーマン・ブラザーズ・インターナショナルはボディコート plc のこのお知らせに記述される事項及び前記の行為能力に関する、共同仲

買人及び共同主催者です。また、ボディコート plc 以外の他のいかなる第三者に対しても、リーマン・ブラザーズ・インターナショナルの顧客に与えられる保護に対して、あるいはこれらの事項に関する助言に対しての責任を負いません

## ボディコートについて

1923 年創業のボディコート plc は、世界 35 カ国の 300 以上の企業に一流の冶金サービスを提供しています。また、イギリスのマックスフィールドに本社のあるボディコート社は、材質試験サービスも実施しています。2007 年度の売上高は 10 億米ドルを超えました。ボディコート・ジャパン株式会社は名古屋市を拠点としています。詳細は [www.bodycote.co.jp](http://www.bodycote.co.jp) をご覧ください。

連絡先:

ボディコート・ジャパン株式会社  
代表取締役  
ジュリアン・ベイショア

〒451-6040 愛知県名古屋市西区牛島町 6 番 1 号  
名古屋ルーセントタワー40階  
ボディコート・ジャパン株式会社  
熱処理受託加工事業部  
Tel: 052-912-5518 Fax: 052-569-1590  
メール: [japan.sales@bodycote.com](mailto:japan.sales@bodycote.com)  
HP: <http://www.bodycote.co.jp>